

# 人文学報

No.469

社会福祉学 29

岡田英己子先生退職記念号

献辞

岡田英己子先生略歴・業績一覧

論文

比較ソーシャルワーク教育史上の「母性」とその「社会的なるもの」の位置づけ  
— A.ザロモンのボランティア・グループの事例を通して  
..... 岡田 英己子

救護施設の動態  
— 全国救護施設調査（開設から2006年まで）—  
..... 岡 部 卓

生活保護受給者世帯における稼働年齢層の実態調査  
— 板橋区との共同研究事業 基礎報告書 —  
..... 長沼葉月・岡部 卓

アメリカの社会福祉教育とマクロ実践のコンピテンシー  
..... 室 田 信 一

首都大学東京人文科学研究科

2013.3

# 人文学報

No.469

社会福祉学 29

首都大学東京人文科学研究科



# 目 次

献辞	( 1 )
岡田英己子先生略歴・業績一覧	( 3 )

## 論 文

比較ソーシャルワーク教育史上の「母性」とその 「社会的なるもの」の位置づけ	
— A. ザロモンのボランティア・グループの 事例を通して	岡 田 英己子 (15)
救護施設の動態	
— 全国救護施設調査（開設から 2006 年まで） —	岡 部 卓 (53)
生活保護受給者世帯における稼働年齢層の実態調査	
— 板橋区との共同研究事業 基礎報告書 —	長沼葉月・岡部 卓 (277)
アメリカの社会福祉教育とマクロ実践のコンピテンシー	
	室 田 信 一 (309)
2012 年度 研究室活動	(339)
2012 年度 教員の活動	(341)
2012 年度 学生研究活動	(349)



## 社会福祉学分野 1 年間の活動



## [2012 年度 研究室活動]

### 〈2012 年〉

4 月 5 日 (木) 社会福祉学分野 2 年生／大学院新入生オリエンテーション

5 月 10 日 (木) 修士論文指導会

「生活保護受給世帯における子育て・教育—Z 県におけるインタビュー調査を通じて」(発表者：三宅雄大)

「離別母子世帯の転居問題の特質」(発表者：東 景子)

「知的障害者の都外施設問題とは何か」(発表者：尾形珠代)

6 月 28 日 (木) 学科研究会

「コミュニティ・オーガナイザーのいる福祉国家」(発表者：室田信一)

6 月 29 日 (金) 卒業論文中間報告書提出

7 月 12 日 (木) 社会福祉士国家試験受験希望者オリエンテーション

7 月 26 日 (木) 博士課程院生報告会

「宗教ソーシャルワークの価値伝承の意義について—ユダヤ教とキリスト教を例として」(発表者：田中利光)

9 月 13 日 (木) 博士論文公聴会

「精神障害者の就労とリカバリー—就労を促進する要因および就労経験がリカバリーに与える影響」(発表者：大山勉)

9 月 22 日・23 日 (土・日) 大学院 博士前期課程 入学試験

10 月 11 日 (木) 第 1 回所属決定ガイダンス (1 年生対象：社会福祉学分野)

10 月 11 日 (木) 修士論文中間報告会

「知的障害者の都外施設問題とは何か」(発表者：尾形珠代)

「生活保護受給有子世帯における『子育て』」(発表者：三宅雄大)

「離別母子世帯の転居問題」(発表者：東 景子)

10 月 18 日 (木) 社会福祉士国家試験受験希望者対象模擬試験

10 月 25 日 (木) 第 2 回所属決定ガイダンス (1 年生対象：社会福祉学分野)



11 月 8 日（木） 卒業論文中間報告会

12 月 6 日（木） 第 1 回卒業論文ガイダンス（3 年生対象）

12 月 13 日（木） 博士課程院生報告会

「合理的調整とパーソナライゼーション—イギリスのソーシャルワーカー養成教育から」（発表者：塚本鶴樹）

## 〈2013 年〉

1 月 10 日（木） 修士論文提出日

1 月 11 日（金） 卒業論文提出日

1 月 31 日（木） 博士論文公聴会

「ユダヤ慈善研究」（発表者：田中利光）

2 月 5 日（火） 修士論文審査会（口頭試問）

「知的障害者の都外施設とは何か—美濃部・鈴木の都政比較と東北都外施設設立過程を通して」（発表者：尾形珠代）

「生活保護受給有子世帯の「教育」に見られる多様性—インタビュー調査を通じて」（発表者：三宅雄大）

「離別母子世帯の転居問題—民間賃貸住宅への転居の実態を通して」（発表者：東 景子）

2 月 7 日（木） 卒業論文発表会（公開審査会）

2 月 15 日・16 日（金・土）大学院博士前期課程 入学試験

2 月 15 日・16 日（金・土）大学院外国人特別 入学試験

2 月 16 日（土）大学院博士後期課程 入学試験

3 月 25 日（月） 卒業式・学位授与式

## [2012 年度 教員の活動]

### 1. 論文・書籍等

- ・ 岡田英己子「比較ソーシャルワーク教育史上の「母性」とその「社会的なもの」の位置づけ — A. ザロモンのボランティア・グループの事例を通して」『人文学報』469号（社会福祉学29）、2013年
- ・ Furuta, Hiroko, Okada, Emiko et al., “Significance and Strategies for International Dissemination of Outputs of Early Career Researchers” In *Journal of Special Education Research*, Vol.1, No.1, 2013
- ・ 岡部卓「現代の貧困にどう立ち向かうか—防貧と救貧のパラドックス—」社会福祉学会編『対論 社会福祉学2 社会福祉政策』中央法規出版、2012年
- ・ 岡部卓「生活保護をめぐる課題」『法律のひろば』2012年11月号（Vol.65/No.11）ぎょうせい、2012年
- ・ 岡部卓「Ⅳ 社会福祉・教育学」『言語聴覚士テキスト第3版』医歯薬出版、2012年
- ・ 岡部卓「第5章 生活保護」『健康支援と社会保障—社会福祉と社会保障』メディカ出版、2012年
- ・ 岡部卓「生活の質・生活の価値」『人口減少社会のライフサイクル』放送大学、2012年
- ・ 岡部卓「人口減少社会における社会保障」『人口減少社会のライフサイクル』放送大学、2012年
- ・ 岡部卓「人口減少社会における社会政策」『人口減少社会のライフサイクル』放送大学、2012年
- ・ 岡部卓「経済教室・生活保護制度を考える（下）失業と貧困、対策に『隙間』」2012年7月25日朝刊版、日本経済新聞、2012年
- ・ 岡部卓「シンポジウム・広がる孤立、生活窮困窮の実態と今後の課題」「実践報告・被災地における孤立、生活困窮の課題」（講演録）『よくわかる福祉政策04』全国社会福祉協議会、2012年

- ・ 岡部卓「生活保護」『月刊 波』日本てんかん協会、2012 年
- ・ 岡部卓「人々の幸せの担い手として」『社会福祉士養成課程入学案内』日本放送協会学園、NHK 学園、2012 年
- ・ 小林理・岡部卓・西村貴之「生活保護受給有子世帯の現状と支援活動—A 県における生活保護受給有子世帯属性調査における実態を対象として」『厚生生の指標題 59 巻・12 号・通巻第 931 号』厚生労働統計協会、2012 年
- ・ 岡部卓「生活支援戦略（新たな生活支援体系）を読み解く」『いのちとくらし 研究所報』No.41、非営利・協同総合研究所、2013 年
- ・ 岡部卓「第 1 章 現代社会と公的扶助」共編著『公的扶助論—低所得者に対する支援と生活保護制度』全国社会福祉協議会、2013 年
- ・ 岡部卓「第 2 章 4 節 生活保護の現状と当面の課題」共編著『公的扶助論—低所得者に対する支援と生活保護制度』全国社会福祉協議会、2013 年
- ・ 岡部卓「第 4 章 低所得者対策の概要」共編著『公的扶助論—低所得者に対する支援と生活保護制度』全国社会福祉協議会、2013 年
- ・ 岡部卓「第 5 章 ホームレス状態にある人びとへの支援」共編著『公的扶助論—低所得者に対する支援と生活保護制度』全国社会福祉協議会、2013 年
- ・ 岡部卓「貧困」他 16 項目執筆『社会福祉学学習双書 2013 第 16 巻学びを深める福祉キーワード集』全国社会福祉協議会、2013 年
- ・ 岡部卓「第 6 章 公的扶助」『系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [3] 社会福祉』医学書院、2013 年
- ・ 岡部卓「シリーズ・クローズアップ制度改革 第 2 回 生活支援戦略=新たな生活支援制度の構築と求められる福祉人材」社会福祉学会ホームページ、2013 年
- ・ 岡部卓「調査報告・救護施設の動態—全国救護施設調査（開設から 2006 年まで）—」『人文学報』469 号（社会福祉学 29）、2013 年
- ・ 岡部卓「報告書を読み解く—民生・児童委員と生活困窮者支援」『View』186 号、全国民生委員児童委員連合会、2013 年
- ・ 岡部卓「生活困窮者の生活支援と社会福祉法人に求められる役割」『経営

協』3月号、全国経営施設協議会、2013年

- ・ 矢嶋里絵「障がい者法の到達点と求められる新たな視点」日本社会保障法学会編『新・講座社会保障法2 地域生活を支える社会福祉』法律文化社、2012年
- ・ 稲葉昭英「家族の変動と社会階層移動」『三田社会学』17、28-42、2012年
- ・ 稲葉昭英「2000年以降の家族の変化」『都市社会研究』4、21-35、(せたがや自治政策研究所)、2012年
- ・ 和気純子・田路至弘監修『高齢者取引の基礎知識』銀行研究社、2012年
- ・ 和気純子「高齢者への就労支援」朝日雅也・布川日佐史編『就労支援』ミネルヴァ書房、2013年
- ・ 堀江孝司「福祉政治と世論：学習する世論と世論に働きかける政治」宮本太郎編『福祉+  $\alpha$  2 福祉政治』ミネルヴァ書房、2012年
- ・ 堀江孝司「世代間の対立／連帯と福祉国家」松尾秀哉・臼井陽一郎編『紛争と和解の政治学』ナカニシヤ出版、2013年
- ・ 長沼葉月・北道子・上林靖子・上林靖子・河内美恵「ASEBA 就学前子どもの行動チェックリスト親記入様式および保育士・幼稚園教諭記入様式の日本語版の開発」『小児の精神と神経』52(3)193-208、2012年
- ・ 副田あけみ・土屋典子・長沼葉月「高齢者虐待防止のための家族支援：安心づくり安全探しアプローチ(AAA)ガイドブック」誠信書房、2012年
- ・ 長沼葉月・岡部卓「生活保護受給者世帯における稼働年齢層の実態調査—板橋区との共同研究事業 基礎報告書—」『人文学法』469号(社会福祉学29)、2013年
- ・ 室田信一「大阪府茨木市のコミュニティソーシャルワーカー配置事業—地域におけるソーシャルワーカーの配置方法をめぐって」『貧困研究』vol. 9、2012年
- ・ 室田信一「アメリカの社会福祉教育とマクロ実践のコンピテンシー」『人文学報』469号(社会福祉学29)、2013年

## 2. 調査報告書等

- ・ 岡田英己子「女性の職業自立を促す二つの戦略 — 女性の「男性化」vs 貧困の「女性化」の狭間で」"JWHN Newsletter" イギリス女性史研究会、第8号、11、2012年
- ・ 岡田英己子「第一波フェミニズム」「青鞥」「婦人参政権」大澤真幸・吉見俊哉・鷺田清一編『現代社会学事典』弘文堂、2012年
- ・ 岡田英己子「優生学」「ドイツの優生学」「民族衛生」「T4プログラム」「Karl Binding と Alfred Hoche『生きるに値しない命を終わらせる行為の解禁 — その基準と形式をめぐる』から」日本特殊教育学会訳編『障害百科事典』丸善、2013年
- ・ 岡部卓「一年の活動を振り返って」『横浜市福祉調整委員会 平成23年度運営状況報告書』横浜市福祉調整委員会、2012
- ・ 岡部卓・小林理・西村貴之・金鎮・三宅雄大『平成24年度 生活保護受給世帯の学習/進学支援に関する研究』平成24年度科学研究費補助金 基盤研究(B)、2013年
- ・ 岡部卓・矢嶋里絵・稲葉昭英・和気純子・堀江孝司・長沼葉月・室田信一・姜恩和・遠藤康裕・荒牧孝次『平成23年度 生活保護の実施機関と関連領域(福祉・保健・医療・教育・労働・住宅・司法・警察等)との連携に関する調査研究報告書』東京都・首都大学東京連携事業、2013年
- ・ 岡部卓・山田壮志郎・垣田裕介他『ホームレスの就労定着に関する調査研究』厚生労働省社会福祉推進事業、三菱総研、2013年
- ・ 岡部卓他『ホームレス自立支援センター、緊急一次宿泊事業等によるホームレスへの個別支援の在り方に関する調査研究事業報告書』厚生労働省セーフティネット支援対策等事業費補助金(社会福祉推進事業分) 神奈川県匡済会横浜総研、2013年
- ・ 岡部卓他『平成24年度 子どもの健全育成プログラム策定推進モデル事業報告書』神奈川県庁、2013年
- ・ 矢嶋里絵「アメリカ」研究代表者古橋エツ子『虐待防止法の総合的研究—国際比較と学際領域のアプローチを軸に一最終報告書』日本学術振興会科

学研究費補助金基盤研究 (B)、2012 年

- ・ 稲葉昭英「ひとり親世帯と子どもの進学期待・学習状況」『親と子の生活意識に関する調査報告書』内閣府子ども若者・子育て施策総合推進室、2012 年
- ・ 稲葉昭英「貧困・低所得とメンタルヘルスおよびその世代的再生産」『親と子の生活意識に関する調査報告書』内閣府子ども若者・子育て施策総合推進室、2012 年
- ・ 和気純子『地域包括支援センターにおける支援困難ケースへの対応に関する調査結果＜概要版＞』2012 年
- ・ 白澤政和・岩崎晋也・住居広士・和気純子ほか共著『提言：災害に対する社会福祉の役割—東日本大震災への対応を含めて—』日本学術会議社会科学委員会社会福祉学学科会、2013 年
- ・ 堀江孝司「書評 新川敏光編著『福祉レジームの収斂と分岐：脱商品化と脱家族化の多様性』（ミネルヴァ書房、2011 年）」『海外社会保障研究』No.181、2012 年
- ・ 堀江孝司「世界女性会議」『現代社会学事典』弘文堂、2012 年
- ・ 堀江孝司「男女雇用機会均等法」『現代社会学事典』弘文堂、2012 年
- ・ 長沼葉月「書評 野村直樹著『みんなのベイトソン』金剛出版」『ブリーフサイコセラピー研究』21(1)、2012 年
- ・ 菊池安希子・長沼洋一・岡田幸之・安藤久美子・津村秀樹・平林直次・長沼葉月・佐野雅隆他「指定入院医療機関モニタリングに関する研究」平成 24 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業）「医療観察法制度の鑑定入院と専門的医療の適正化と向上に関する研究」（主任研究者五十嵐禎人）分担研究報告書、2013 年
- ・ 長沼葉月・稲葉昭英・岡部卓・東京都福祉保健局「福祉事務所における子どものいる被保護世帯の支援ガイド一次世代育成の観点から—基礎スキルから、連携アプローチの方法まで（仮題）」首都大学東京・東京都連携事業成果物、2013 年
- ・ 室田信一「ふれあい・いきいきサロンの射程と社協職員の役割」『NORMA』

No. 258、2012 年

- ・ 室田信一「書評 James Midgley and Amy Conley 編著、宮城孝監訳『ソーシャルワークと社会開発—開発的ソーシャルワークの理論とスキル』丸善」『コミュニティソーシャルワーク』第 10 号、2012 年
- ・ 室田信一「生活支援活動の取り組みで社協はどう変わるのか」(シンポジウム：藤井博志、平野隆之、岩間伸之)『NORMA』No. 264、2013 年
- ・ 室田信一「地域住民を支えるために」(シンポジウム：菊池まゆみ、篠原洋貴、眞弓洋一)『NORMA』No. 265、2013 年

### 3. 学会発表

- ・ 岡田英己子「若き日の A. ザロモン社会事業・教育論の特徴 — 社会政策通フェミニストとなる契機に注目して」社会事業史学会、日本女子大学、2012 年
- ・ 岡部卓「貧困の連鎖防止に向けて—神奈川県調査報告を通して—」国立社会保障人口問題研究所 研究会、2012 年
- ・ 岡部卓「生活保護受給者の増加をどのように解釈するか」第 8 回社会保障国際論壇、2012 年
- ・ 岡部卓「貧困と政治—貧困に社会福祉学はどう立ち向かうか—政策論の観点から」(シンポジウム) 第 9 回日本社会福祉学会フォーラム、2012 年
- ・ 小林理・岡部卓「生活保護受給有子世帯の親子関係と子育て課題の現状—A 県における生活保護受給有子世帯アンケート調査結果から親子関係の項目を中心に—」日本社会福祉学会、2012 年
- ・ 岡部卓「東日本大震災特別企画シンポジウム 生活の再建に向けた社会福祉学の役割」(コメンテーター) 日本社会福祉学会、2012 年
- ・ 岡部卓「シンポジウム・広がる孤立、生活困窮の実態と今後の課題」「実践報告・被災地における孤立、生活困窮の課題」(コーディネーター・コメンテーター) 社会福祉トップセミナー、全国社会福祉協議会、2012 年
- ・ 岡部卓「生活保護自立支援プログラムは何をめざすのか」(講演) 第 1 回生活保護自立支援プログラム評価方法研究会、2012 年
- ・ 岡部卓「生活支援戦略で貧困はなくせるか—貧困の現状と生活支援戦略」『福

社国家構想研究会』、2012 年

- ・ 岡部卓「最低生活保障と生活保護—社会的正義と公正の実現に向けて—」(シンポジウム・コーディネーター) 第 49 回社会福祉セミナー、鉄道弘済会、2012 年
- ・ 岡部卓「子どもの夢と希望をかなえるために—子どもの貧困を断ち切る支援とは—」(シンポジウム・シンポジスト) 神奈川県、2012 年
- ・ 岡部卓「生活保護をめぐる状況と社会福祉法人」(講演) 全国社会福祉施設経営者協議会、2012 年
- ・ 岡部卓「生活保護制度の課題と無料低額診療所への期待」(講演) 『全国福祉医療施設大会』全国福祉医療施設協議会、2012 年
- ・ 岡部卓「生活困窮者への支援において厚生事業関係施設に求められること」(講演) 『地域におけるセーフティネット推進セミナー』全国厚生事業団体協議会、2013 年
- ・ 稲葉昭英「同居母子世帯出現率の地域的差異: もうひとつの家族の地域性?」日本家族社会学会大会、お茶の水女子大学、2012 年
- ・ 和気純子「支援困難ケースにおける 3 職種の異同一地域包括支援センターの全国調査を通して—」日本社会福祉学会、関西学院大学、2012 年
- ・ 和気純子「ソーシャルワーク国際定義の再検討—ストックホルム大会の成果をうけて—」(コーディネイター兼発題者) 全国社会福祉教育セミナー、東北福祉大学、2012 年
- ・ 和気純子「震災と高齢者—地域包括ケアと福祉コミュニティ形成—」社会学系コンソーシアム、2013 年
- ・ 堀江孝司「日本のジェンダー平等政策・少子化対策における「女性」像と政党」日本選挙学会、筑波大学、2012 年
- ・ 長沼洋一・長沼葉月・米村美奈・國中咲枝「キャンパスソーシャルワーカーの業務確立に向けての現状と課題」日本学校ソーシャルワーク学会、四国学院大学、2012 年
- ・ 長沼葉月・岡部卓「生活保護世帯の子どもの学習意欲に関する研究—学年進行に伴う変化と親子関係に注目して—」日本ソーシャルワーク学会、関



東学院大学、2012 年

- ・ 副田あけみ・長沼葉月・土屋典子・坂本陽亮「高齢者虐待への介入アプローチ開発：事例をもとにした「安心づくり安全探しアプローチ（AAA）」の有用性評価」日本ソーシャルワーク学会、関東学院大学、2012 年
- ・ 長沼葉月・荒井浩道・矢原隆行「ソーシャルワーカー養成において家族療法をどう教えるか」日本家族研究・家族療法学会（自主シンポジウム）、2012 年
- ・ 長沼葉月・遠藤康裕・岡部卓「生活保護受給者のメンタルヘルスと就労意欲 ―稼働年齢層を対象とした大規模調査に基づいて―」日本社会福祉学会、2012 年
- ・ 室田信一「「制度の狭間」のケースに対する開発実践とその評価」日本地域福祉学会、熊本学園大学、2012 年
- ・ Mizrahi, T., Korazim-Korosy, Y., Torok, P., and Murota, S. "Interdisciplinary Collaboration in Social Work Education in US, Canada, Israel, Hungary and Japan", International Conference on Interdisciplinary Social Sciences, Universidad Abat Oliba CEU, Spain, 2012
- ・ Murota, S. "Who Can Be Accountable in a Community: An International Comparative Study on a Social Safety Net Using Vignettes", International Conference on Social Security, APA Hotels & Resort Tokyo Bay Makuhari, Japan, 2012
- ・ 室田信一「アメリカにおけるソーシャルワーク教育の動向」第8回近畿ブロック社会福祉教育セミナー、武庫川女子大学、2013 年
- ・ 姜恩和「戦後の家庭的養護の歴史的展開に関する考察―児童福祉法制定期において『他人の子ども』の養育という慣行はどのように捉えられたか―」日本社会福祉学会、関西学院大学、2012 年

## [2012 年度 学生研究活動]

### 【博士論文】

- 大山 勉：精神障害者の就労とリカバリー  
 —就労を促進する要因および就労経験がリカバリーに与える影響—
- 田中 利光：ユダヤ慈善研究

### 【修士論文】

- 尾形 珠代：知的障害者の都外施設とは何か  
 —美濃部・鈴木の都政比較と東北都外施設設立過程を通して—
- 三宅 雄大：生活保護受給有子世帯の「教育」に見られる多様性  
 —インタビュー調査を通じて—
- 東 景子：離別母子世帯の転居問題  
 —民間賃貸住宅への転居の実態を通して—

### 【卒業論文】

- 青柳 賢吾：専業主夫が示す新たな家族像
- 阿相 友季：SNS が若者のコミュニケーションに与える影響
- 印南 圭裕：立石真也の『分配する最小国家の可能性について』再考
- 石田 貴子：西南地域における未婚化促進要因  
 —沖縄・高知・鹿児島—
- 伊藤 綾香：レジリエンスの定義をめぐって
- 植竹 太郎：これからの震災復興の課題と実践についての一考察  
 —地域コミュニティの再生によるまちづくりと迫られる復興施策  
 への提言—
- 風藤 良太：ケイパビリティ・アプローチの展開
- 鳴原はずき：児童養護施設で暮らす障害者を抱える子どもの支援について
- 小林 葉：企業社会における女性労働の可能性
- 小山美紗季：NPO における協働の可能性

渋谷 沙帆：観光地におけるバリアフリーについて

杉本 博紀：男性高齢者の社会参加の現状と課題とその可能性

—都市郊外における事例から—

鈴木 真：若者の生きづらさ

—引きこもりの現状と検証—

中野 真優：「潜在ニーズ家庭」への子育て支援とは

服部 諒：階層移動の学歴媒介メカニズムについて

宮崎 智美：子どもの音楽活動における意義

安永 竜雄：所得保障をめぐって - ワークシェアとベーシックインカム

横森 恭平：地域子育て支援センターの利用状況と利用目的

—ニーズに合わせた支援の提供に向けて—

岡 田 英己子 (本学 教 授)

岡 部 卓 (本学 教 授)

長 沼 菜 月 (本学 准教授)

室 田 信 一 (本学 准教授)

平成 25 年 3 月 25 日 印刷

平成 25 年 3 月 29 日 発行

「人 文 学 報」 第 469 号

社会福祉学 29

非 売 品

東京都八王子市南大沢 1 丁目 1 番地

編集・発行者 首都大学東京人文科学研究科

代 表 者 石 川 知 広

---

株式会社 相 模 プ リ ン ト

神奈川県相模原市緑区東橋本1-14-17

TEL 042 - 772 - 1275



古紙パルプ配合率70%再生紙を  
使用しています

THE JOURNAL OF  
SOCIAL SCIENCES AND HUMANITIES  
(*JINBUN GAKUHO*)

EDITED BY

The Graduate School of Humanities  
Tokyo Metropolitan University  
*1-1 Minamiosawa, Hachioji-shi, Tokyo*

---

No.469

March 2013

---

**SOCIAL WELFARE 29**  
**CONTENTS**

Dedication

CV and the List of Articles and other Works by prof. Emiko Okada

Articles

What Motherhood and Women's Life in Society Involve  
in Comperative Social Work History:

From the Case Studies of Alice Salomon Volunteer Groups

..... Emiko Okada

A Trend of Relief Institutions in Japan:

From the Establishment to 2006 ..... Taku Okabe

A Survey on Working-Age Population among Public Assistance Recipients:

A Report of a Research Project with Itabashi Ward

..... Hazuki Naganuma and Taku Okabe

Social Work Education in the U.S. and Macro Practice Competency

..... Shinichi Murota